

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月8日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	5-9-6-1
事務事業名 広域行政組合（消防費）参画事業（消防費）				部等名	生活福祉部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	生活安全課
	一般	01-090101001	細々目名	係等名	消防防災係
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり		
	施策	9	消防・防災対策の充実		
	基本事業名	6	救急・救助対策（常備消防）		

事業概要 実施内容	安達地方広域行政組合で運営している、消防・救急・救助活動に要する費用の負担金を支出				
根拠法令等	安達地方広域行政組合格約	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定（ 年度 ~ 年度）			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	348,770,190 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	348,770,190 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象（誰を、何を）		市民 安達地方広域行政組合（負担金支払先）	
手段（事業の具体的な内容、手順等）		安達地方広域行政組合の消防施設の維持管理、火災発生時の消火活動や救命救急・救助活動、救命士の養成、防火思想の啓発	
意図（対象を、どのような状態にしたいのか）		罹災者の被害軽減と火災の鎮圧 救急搬送による生命保護 災害事故による被害の軽減、被害者の救出救助による被害の軽減	
		活動指標名・式（アウトプット）	活動の大きさを表す指標
		指標 (1) 名称 式	火災件数
		指標 (2) 名称 式	救急出動件数
		成果指標名・式（アウトカム）	意図の達成度を表す指標
		指標 (1) 名称 式	罹災人員
		指標 (2) 名称 式	救急・救助搬送人員
事務事業を実施（意図を実現）することで、施策にどのように貢献していますか 消防・救急体制の確立により安全、安心なまちづくり。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度（実績）	年度（実績）	18年度（実績）	19年度（実績）	20年度（見込み）	年度（最終目標）
指標	活動指標（1）	件			18	10	
	活動指標（2）	件			916	900	
	成果指標（1）	人			25	20	
	成果指標（2）	人			895	800	
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円			5,384	5384
		一般財源	千円			343,386	343,386
	事業費計（A）	千円			348,770	348,770	
	職員数	人			0	0	
	人件費	千円			8,373	8,373	
人件費計（B）	千円			0	0		
総事業費（A+B）	千円			348,770	348,770		

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？
今以上に少子高齢化が進行し、将来人口が減少することが予想されるため、消防の広域化が推進されている。
この事業に対して、関係者（市民・議会・事業対象者・利害関係人等）からどんな意見や要望が寄せられていますか？
生命と財産を守ってもらうため、消防施設・整備を図り迅速な出動できる体制の強化を望んでいる。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
本事業の遂行により、安全、安心なまちづくりができる。		
消防組織法第6条に「市町村は、当該市町村の区域における消防を十分に果たすべき責任を有する。」と定められており、また、費用の負担も同法第8条に規定されているため市が関与する必要がある。		
消防の任務は消防組織法第1条に定められているものであり、対象・意図は妥当である。		
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
消防団や自主防災組織との連携強化により防災意識を高めることで、火災等の災害による被害を軽減することができる。		
消防組織法に消防の任務、市の責務が定められている。		
消防団は、予防消防活動や火災発生時の初期消火活動、水防活動等の災害時の防御、応急対策活動等と役割が異なるため、事務事業の統廃合はできない。		
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
必要最小限の予算で執行しているため、削減の余地はない。		市民の安全を確保し、災害による被害を軽減するためであるため、受益者負担を求める余地はない。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						